



秦野フットボールクラブ

秦野フットボールクラブは1980年、秦野市内のサッカー普及・発展を目標に設立されました。

現在はスクール（幼児・小学生）40名 から Jr（1～6年生）135名・JY（中学生）60名・TOP（18歳以上）30名・シニアの категорияがあり、どの年代でも活動できる多世代型のサッカークラブとして活動しています。

Jリーグでは、小学生から大人までのチームを持ち地域に根ざしたチーム作りを行っていますが、秦野FCではJリーグ発足前からそうした理念を持ち、レベルこそ違いはあるもののそれに負けない活動を行っています。また、日本サッカー協会および日本体育協会公認の指導員が在籍し正しい指導、年代ごとにあった指導、より良い環境作りを行っています。専任の事務局員兼コーチをおき、クラブ運営や指導にあたっています。専任コーチのほかにアシスタント・審判スタッフ（ボランティアや学生アルバイト）がサポートしています。入会者の保護者の負担になる当番や、引率などはありません。

●2016年度 JY スタッフ：（2017年度も継続予定）

常勤スタッフ：多田浩行、岡村吉朗、和田朋之、飯野雄介

アシスタント・審判スタッフ（土日中心）：飯田徹、斉藤貢、大森光春、小川育男、花田英樹

●卒業生進路

ベルマーレユース（高3年1名）、鹿島学園（高1年1名、特待生として入学）

秦野高・座間高など近隣公立高校に勉強と両立により進学する選手や、日大藤沢高・向上高校・相洋高校・東海大相模高などの私立高校にスポーツ推薦をもらい進学している選手が多くいます。（特待制度で入学する選手もいます）

●施設

練習場は地主様のご理解とご協力により土地をお借りし、1989年3月に照明完備の専用練習場（土グランド）として完成。（施設名：秦野FC羽根グランド）2006年4月に人工芝グランドに改修が完了（施設名：フットボールパーク秦野）。

また夜間照明も完備しており、夜も練習が可能です。そのほかにもクラブハウス・更衣室・シャワーを併設するなど、より良い環境でサッカーができるようになりました。

クラブ専用マイクロバスを所有し、平日練習の送迎や日帰り・宿泊を伴う遠征などを適宜実施しています。



ジュニアユースではサッカーをする上で、また身体的にも成長する大事な時期に専門的な指導を施し選手の育成を目的に活動しています。